

みんなのひろば

Message



市民と編集担当者とのおしゃべりコーナー「みんなのひろば」です。より親しみやすい広報紙をめざして、みなさまからいただいたメッセージを紹介していきます。今回は、前号（43号）のクイズ応募ハガキからです。

▼先日多文化5ヶ国料理教室に参加してきました。行くまでは、申し込みはしたものの言葉の問題やコミュニケーション、味など不安でいっぱいでした。しかし、行ってみたらロシア、ベトナム、韓国、ネパールの方々の陽気な事。日本に来てご苦労もあったかと思うのですが、前向きでした。特にネパールの方の明るい事。日本語もお上手で、スパイスの説明や料理の仕方、ネパールの国の事、色々お話しして頂きそれは、それは、楽しいお料理教室でした。他国の方々に、なかなかお会いする事がないので、本当に充

実した一日でした。又、こんな企画をお願いします。（40代）

多文化体験喜んでいただいていたがとうございませう。市内の外国人登録者も3月末のデータで、233人となっています。地域の国際化も急ぎましょう。

▼市内のこの人紹介コーナー鶴澤友球さん、去年御自宅で伊賀越道中双六六段目沼津里の段の浄瑠璃ライブ、よかったです。（60代）

自宅での浄瑠璃ライブ未経験です。一度、誘って下さい。

▼人権の眼・「福祉への道」で淡高サロンを初めて知りました。今後も若い人達に福祉のことを身近に感じてもらい、やさしい社会が広がっていくことを望みます。（60代）
「淡高サロン」は、北淡公民館2階の研修室でよく実施されています。地域の高齢者に大変好評で、学生より

先に、研修室前で並んで待っている高齢者の光景をよく見かけます。

▼昔人間のヒガミ（国語は好きでした）最近の子供の名前が読めません。人権作文集「ころ」の掲載者名がほとんど読めません。ひらがながのっているの、何とかか理解できました。○○さんは消えた文字にいつなったのですか？（60代）

市内小中学校にお聞きしたところ、女子全体の約3%が○○子さんでした。人氣は保たれているようです。○男さんも少なくなりましたよね。

▼いつも楽しく拝読させていただいています。人権のビデオはいつもみんなが集まるサロン等で写すとよいですね。（70代）

地域の小規模単位のサロンで人権ビデオをたくさん鑑賞して下さいね。

《メッセージをお寄せください》
クイズ応募ハガキ、FAXやメールでお願いします。
TEL 0799-64-2521
FAX 0799-64-2565
Eメール: awaji-jinken@city.awaji.jp

くらしのトピックス⑤
淡路市社会福祉協議会

九州中部地震の支援でおもむくと

九州中部地震で被害にあわれた方々に心からお見舞いを申し上げます。（社協では熊本・大分両県の被害を考え、この様に表現しています。）

社協ではこれまで延べ7名の職員が延61日間にわたり熊本県内に支援に入っています。

熊本県内の被災地では仮設住宅の建設が進められています。このような中、仮設住宅入居後の高齢者等の見守りや地域の支えあい体制についても準備が進められています。

阪神・淡路や東日本の大震災の時にも同じようなことがありましたが、様々な団体やボランティアが日に何度も訪問することによる被災者の疲弊や、過度な見守りが当事者からすると監視になってしまうことの無いような支援が求められています。

もともと、地域のつながりが強い地域が多い被災地だけに、私たちの失敗経験を参考にしたいいただき、豊かな暮らしを取り戻せる復興を応援したいと思っています。

ほわんと手話!!
第33回

手話は、ろうあ者が日常生活に用いているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話やろうあ者の生活等を紹介していきます。

「淡路」



左手のひらの上で右手首をまわす。

ろうあ者の日常生活を知ろう⑨
ろうあ者が日常生活において困っていることはいろいろあります。例えば、外食したときのことです。メニューを見て料理を詳しく知りたいとき、指さしや筆談でやりとりしますが、説明された内容が分かりにくいことがあります。

協力：淡路聴力障害者協会
手話サークル津名